アネスト岩田株式会社
2025年3月期
決算補足説明資料

2025年5月9日
東証プライム市場　機械
証券コード6381

資料のポイント

2025年3月期の実績

- 売上高は、54,411百万円（前年同期比＋1.8%）。塗装設備を除く日本の売上が下期にかけて復調したことや、欧州の塗装機器販売が拡大したことで増収。
- 営業利益は、5,903百万円（ 同 －0.7%）。特に人件費を主とした海外販管費の増加と円安の影響から、販売管理費率が上昇
- 経常利益及び当期純利益は、為替差益の減少などにより減益
- 期末配当は期初予想比5円減配の１株当たり23円を予定（年間配当は45円）

2026年3月期の計画

- 新たな中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）をスタート
  - ✓ ご参考：2025年5月9日公表「新中期経営計画策定に関するお知らせ」（別資料）
- 日本やインドをはじめとする圧縮機の売上拡大を中心にすべてのエリアで増収を目指す
- 人件費の増加傾向が続くほか、新規事業やIT投資など積極的な成長投資の継続により減益を見込む
- 株主還元指標として新たにDOEを採用し、年間配当金は一株当たり83円を予定。自社株買いは中計期間中に実施

塗装機器の販売が全体の業績をけん引し、売上高は増加。一方で、人件費をはじめとする販売管理費増加や為替差益の減少などが収益を圧迫し、各段階で利益減少、利益率低下

■ 売上高における為替の影響は+2,126百万円

■ 21百万円の為替差益が発生（前年同期比－718百万円）

		2024年3月期		2025年3月期		前年同期比			2025年3月期業績予想	
		実績（百万円）	利益率（%）	実績（百万円）	利益率（%）	増減額（百万円）	増減率（%）	利益率変化（pts）	予想値（百万円）	進捗率（%）
売上高		53,425	—	54,411	—	+986	+1.8	—	54,500	99.8
営業利益		6,176	11.6	5,903	10.8	-273	-4.4	-0.7	5,700	103.6
経常利益		7,986	14.9	7,139	13.1	-847	-10.6	-1.8	7,100	100.5
親会社株主帰属純利益		4,931	9.2	4,276	7.9	-654	-13.3	-1.4	4,400	97.2
平均為替レート	円／米ドル	140.56 円		151.58 円		11.02 円 円安			151.50 円	
	円／ユーロ	152.00 円		163.95 円		11.95 円 円安			164.00 円	
	円／人民元	19.82 円		21.02 円		1.20 円 円安			21.00 円	
年間配当		49 円		45 円 (予定)		4 円 減配				

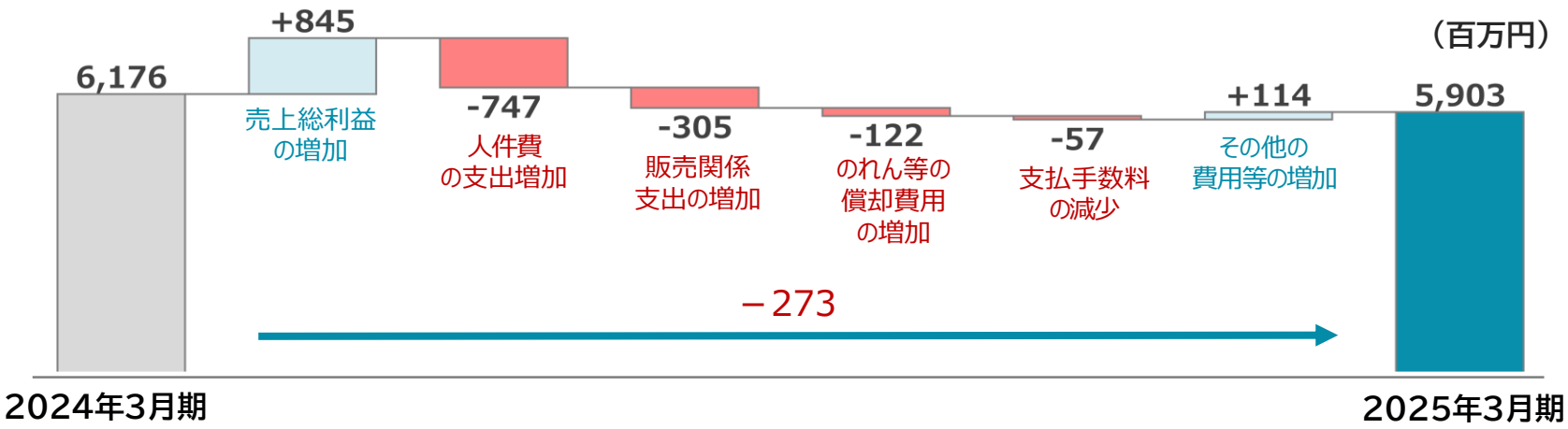
【為替の感応度について】売上高、営業利益ベースによる傾向値（**下記にて通貨割合は反映されておりません**）

＊売上高　：1円の円安にて、米ドル50百万円/年、ユーロ50百万円/年、人民元600百万円/年、それぞれ増加

＊営業利益：1円の円安にて、米ドル10百万円/年、ユーロ10百万円/年、人民元30百万円/年、それぞれ増加

営業利益増減の要因分析

特に欧米及び中国での人件費が増加したことに加え、円安の影響が上乗せされて海外の販売管理費が増加したことなどにより減益



売上原価率の改善

- ■ 2025年３月期：53.5% (前年同期比-0.7pts)
- ■ 売上原価（29,091百万円： 同 ＋140百万円）における為替の影響は、＋1,168百万円
- ✓ 利益率の高い塗装機器の売上拡大や、利益率の低い塗装設備の販売減少による商品ミックスの変動などに伴い原価率が低下

販売管理費率の上昇

- ■ 2025年３月期：35.7% (前年同期比+1.4pts)
- ■ 販売管理費（19,417百万円： 同 +1,118百万円）における為替の影響は、＋705百万円
- ✓ 人材確保を目的とした欧米の人件費上昇、および中国における技術要員の採用に伴うコスト増加
- ✓ 開発スピード向上を目的に日本で建設中の試作棟に関連した設備投資などに伴う減価償却費が増加（ 同＋176百万円）

地域別業績

「その他」エリアを除き、増収。欧州の塗装機器が年間を通じて好調に推移し、全体を牽引

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	構成比変化（pts）
日本	18,207	34.1%	18,312	33.7%	+105	+0.6
欧州	8,663	16.2%	9,310	17.1%	+647	+7.5
米州	6,862	12.8%	7,075	13.0%	+213	+3.1
中国	11,419	21.4%	11,520	21.2%	+101	+0.9
その他	8,273	15.5%	8,191	15.1%	-82	-1.0
合計	53,425	—	54,411	—	+986	+1.8

（注）1. 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生
2. セグメント区分：その他＝中国除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

欧州・中国市場での圧縮機販売が低調も、販売戦略の効果により中国からの輸出及び日本市場の売上が業績を下支え

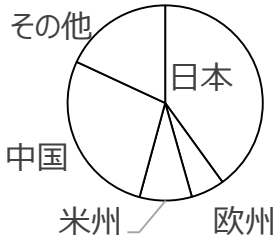
（単位：百万円）

	区分	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)	概況（矢印は前年同期比）
売上高	圧縮機	30,190	30,787	+596	+2.0	（日本）↑計画的な販促キャンペーンの展開や価格改定の浸透により、下期にかけて売上が回復 ↓業界において特に小形圧縮機の出荷台数は減少傾向 （欧州）↓OEM先の需要動向の変化によりオイルフリー圧縮機の売上減少 （中国）↓国内販売の低迷を輸出販売がカバーしきれず、売上が減少 （その他）↑インドや東アジアにおいて小形圧縮機の売上が伸長
	真空機器	2,983	2,822	-161	-5.4	（米州）↓前期に見られたスポット需要がなく真空ポンプの売上が減少
	合計	33,174	33,609	+434	+1.3	
営業利益	エアエナジー	3,296	3,388	+92	+2.8	営業利益率：10.1%（前年同期比+0.2pts）※1 ↓真空ポンプの原価率が上昇 ↑SCR社※2の調達プロセスの見直しなどにより圧縮機の原価率が改善

（注）今期より、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、**「その他」に区分変更**いたしました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています

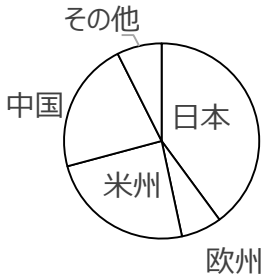
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※3】

圧縮機（コンプレッサ）



日 本 ： ○
欧 州 ： ×
米 州 ： ○
中 国 ： ▽
その他 ： △

真空機器



日 本 ： ▽
欧 州 ： ▽
米 州 ： ×
中 国 ： ○
その他 ： ×

※1 （製品別利益率のイメージ）
真空機器＞塗装機器＞圧縮機＞塗装設備

※2 （SCR社）
上海斯可絡圧縮機有限公司：中国の圧縮機製造販売子会社

※3 （前年同期比）
◎：10%～ ○：3%～10% △：0%～3%
▽：0%～-3% ●：-3%～10% ×：-10%～

欧州における塗装機器販売が堅調に推移し、全体売上を牽引。木工塗装市場の開拓も進展

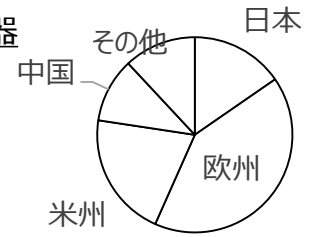
（単位：百万円）

	区分	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	概況（矢印は前年同期比）
売上高	塗装機器	16,838	17,943	+1,104	+6.6%	（欧州）↑新製品を中心としたエアーブラシの需要が拡大 （欧州・米州）↑自動車補修市場向けスプレーガンや木工市場向け塗装用ユニットの売上が好調に推移
	塗装設備	3,300	2,736	-564	-17.1%	（中国）↑機械部品や樹脂成形品の生産に関連する塗装設備の納入が完了 （中国以外）↓設備投資動向に伴う期初受注残の不足や受注鈍化により売上が減少
	合計	20,139	20,679	+539	+2.7%	
営業利益	コーティング	2,818	2,608	-210	-7.5%	営業利益率：12.6%（前年同期比－1.4pts）※1 ↓売上減少や前期と異なる利益割合の案件有無などに伴う塗装設備の利益率の悪化 ↑商品ミックスの変動による原価率の低下

（注）今期より、塗装時の作業環境を改善する**「環境装置」の製品区分を「塗装機器」から「塗装設備」に変更**いたしました。加えて、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネス収益は、**「その他」に区分変更**いたしました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています

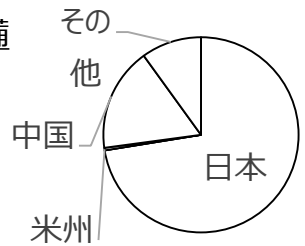
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】

塗装機器



日本：△
欧州：◎
米州：○
中国：●
その他：○

塗装設備



日本：×
欧州：－
米州：×
中国：◎
その他：×

※1（製品別利益率のイメージ）
真空機器＞塗装機器＞圧縮機＞塗装設備

※2（前年同期比）
◎：10%～ ○：3%～10% △：0%～3%
▽：0%～-3% ●：-3%～10% ×：-10%～

その他の事業の概況

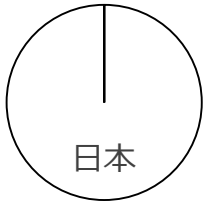
事業戦略上の重要性の観点から、新規事業などを「その他」事業として切り出し

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比		概況（矢印は前年同期比）
			増減額	増減率	
売上高	111	123	+11	+10.2%	（日本）↑ エアーブラシを中心としたECサイト売上が好調に推移 （その他）↑ フィリピンにおいて新たに軽板金補修事業を開始（次年度より計上予定）
営業利益	61	-94	-156	-253.1%	営業利益率： －76.7 %（前年同期比 －131.9 pts） ↓ 第三の事業確立に向けた専任体制を構築するための子会社設立に伴い、収益が悪化

（注）1.「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に含まれていたECサイト販売をはじめとするコンシューマビジネスの収益売上は、事業戦略上の重要性の観点から比較を容易にするため「その他」の区分を新設し、区分変更しました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています
2.「その他」事業には、コンシューマービジネスやモビリティーアフターサービスなどが含まれます。

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※1】



日 本 ： ◎
欧 州 ： －
米 州 ： －
中 国 ： －
その他 ： －

※1 （前年同期比）
◎：10%～ ○：3%～10% △：0%～3%
▽：0%～-3% ●：-3%～10% ×：-10%～

貸借対照表の概要

政策保有株式の売却などにより、投資有価証券の期末残高が減少。そのほか、株主資本の増加や為替変動の影響などにより自己資本比率は67.7%に上昇（前期末比+0.9pts）

		2024年3月期 期末	2025年3月期 期末	対前期末差異		
		実績（百万円）	実績（百万円）	増減額（百万円）	増減率（%）	主な増減要因
資産	流動資産	40,571	45,229	+4,657	+11.5	・「現金及び預金」の増加 +4,404百万円
	固定資産	25,573	23,975	-1,597	-6.2	・「投資有価証券」の減少 －3,096百万円
	資産	66,144	69,204	+3,060	+4.6	
負債及び資本	流動負債	12,789	12,161	-628	-4.9	・「未払法人税等」の減少 －845百万円
	固定負債	3,280	3,479	+199	+6.1	・「長期借入金」が増加 +89百万円 ・「退職給付に係る負債」の増加 +50百万円
	負債	16,069	15,641	-428	-2.7	
	株主資本	39,737	41,435	+1,697	+4.3	・「利益剰余金」の増加 +2,324百万円
	その他の包括利益累計額	4,421	5,420	+998	+22.6	・「為替換算調整勘定」の増加 +1,528百万円
	非支配株主持分	5,915	6,707	+792	+13.4	
	純資産	50,074	53,563	+3,489	+7.0	
	負債・純資産	66,144	69,204	+3,060	+4.6	

設備投資計画・研究開発費の状況

本社試作棟をはじめ、今後の事業拡大を見据えて開発や生産を強化する施設を建設。2026年3月期も、引き続き積極的な成長投資を実施予定

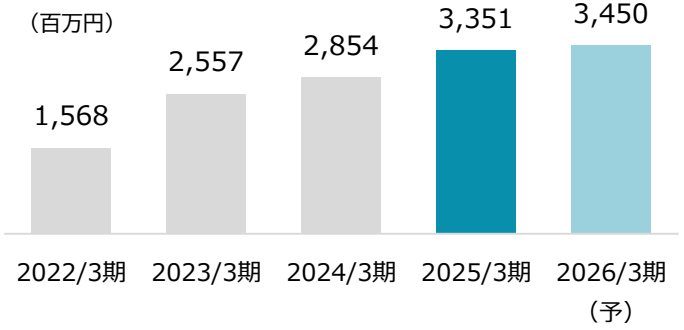
	2025年3月期			2026年3月期
	実績（百万円）	計画（百万円）	進捗率（%）	計画（百万円）
設備投資	3,351	2,600	128.9	3,450
減価償却費	2,299	1,960	117.3	2,400
研究開発費※	1,774	1,700	104.4	2,000

主な設備投資

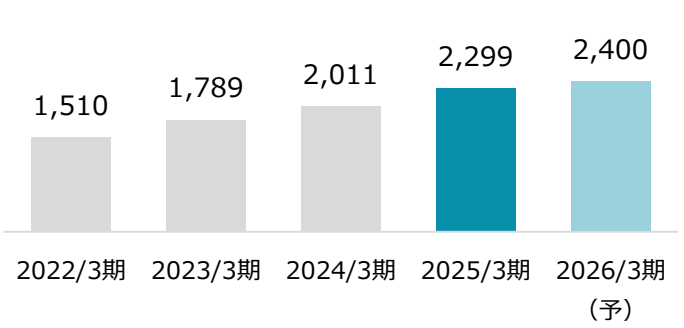
2025年3月期
- 日本：本社試作棟の建設（2025年夏頃に完成予定）、施設の改修など
- インド：中形圧縮機の組立工場の建設（2025年5月に完成予定）

2026年3月期
- 日本：工場のDX化をはじめとするデジタル基盤の構築、開発投資の強化
- 各エリアにおける生産設備の増強

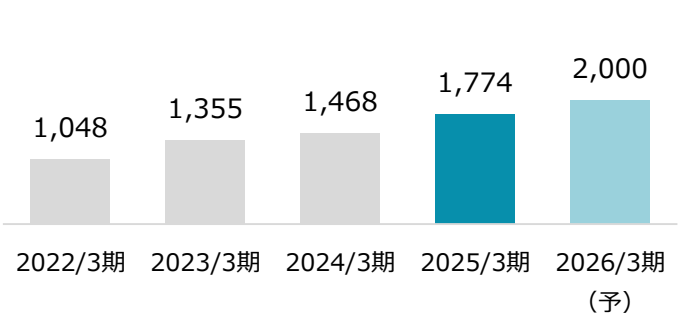
設備投資額



減価償却費（百万円）



研究開発費（百万円）



※研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

2026年3月期　通期見通しの概要

すべてのエリアで増収計画も、人材投資含む成長投資の積極的な実施を継続することにより減益を見込む

		2025年３月期		2026年３月期			
		実績（百万円）	構成比（%）	目標値（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
売上高		54,411	100.0	58,000	—	+3,588	+6.6
エアエナジー	圧縮機	30,787	56.6	—	—	—	—
	真空機器	2,822	5.2	—	—	—	—
	小計	33,609	61.8	35,800	61.7	+2,190	+6.5
コーティング	塗装機器	17,943	33.0	—	—	—	—
	塗装設備	2,736	5.0	—	—	—	—
	小計	20,679	38.0	22,100	38.1	+1,420	+6.9
その他	小計	123	0.0	100	0.2	-23	-18.8
営業利益		5,903	10.8	5,550	9.6	-353	-6.0
エアエナジー	営業利益	3,388	—	3,400	—	+11	+0.3
コーティング	営業利益	2,608	—	2,750	—	+141	+5.4
その他	売上高	-94	—	-600	—	-505	—
経常利益		7,139	13.1	6,710	11.6	-429	-6.0
親会社帰属当期純利益		4,276	7.9	4,150	7.2	-126	-3.0
平均為替レート	円／米ドル	151.58	—	151.50	—	-0.08	
	円／ユーロ	163.95	—	164.00	—	0.05	
	円／人民元	21.02	—	21.00	—	-0.02	

中・長期的な業績拡大に向けた投資の継続や外部環境が収益を下押しも、増収の見込み

前提条件

- 国内外の人件費や物流コストのほか、原材料及び部材の調達価格の上昇を見込む
- 対円為替レートは2025年3月期と同水準を想定も、不確実性が高いため、目標値に為替差損益は含めず
- 米国関税政策は、日本からの米国向け輸出（圧縮機・塗装機器）に影響の可能性あるも動向不透明により、目標値には含めず

2026年３月期の見通し

	予想	前年同期比
売上高	58,000	+6.6
営業利益	5,550	-6.0
経常利益	6,710	-6.0
当期純利益	4,150	-3.0

売上高

- 日本及び海外の全エリアにおいて増収の見込み
  - ✓ 日本・インドにおける圧縮機、欧米における塗装機器の販売が拡大
  - ✓ 欧州の圧縮機については販売体制の再構築に着手も時間を要する
  - ✓ 中国内需は微増を見込む

営業利益

- 日本・米州・中国を中心に人件費が増加
- 日本における営業コストの増加
- 開発投資の強化など、さらなる成長に向けた投資の継続

経常利益 / 当期純利益

- 政策保有株式の縮減継続も、2025年3月期計上分の反動減があり売却益は減少
- 2025年3月期に計上した事業資産の評価損の解消

2025年3月期の配当は、配当性向を前提とする方針に基づき年間45円予定（配当性向：41.6％）
還元強化のため、2026年3月期より新たな株主還元方針を策定

株主還元方針

■ 2026年3月期より、株主の皆様に対し安定的かつより多くの還元を実現するため、これまでの配当性向に代わり、新たに**株主資本配当率（DOE）**を還元指標に採用

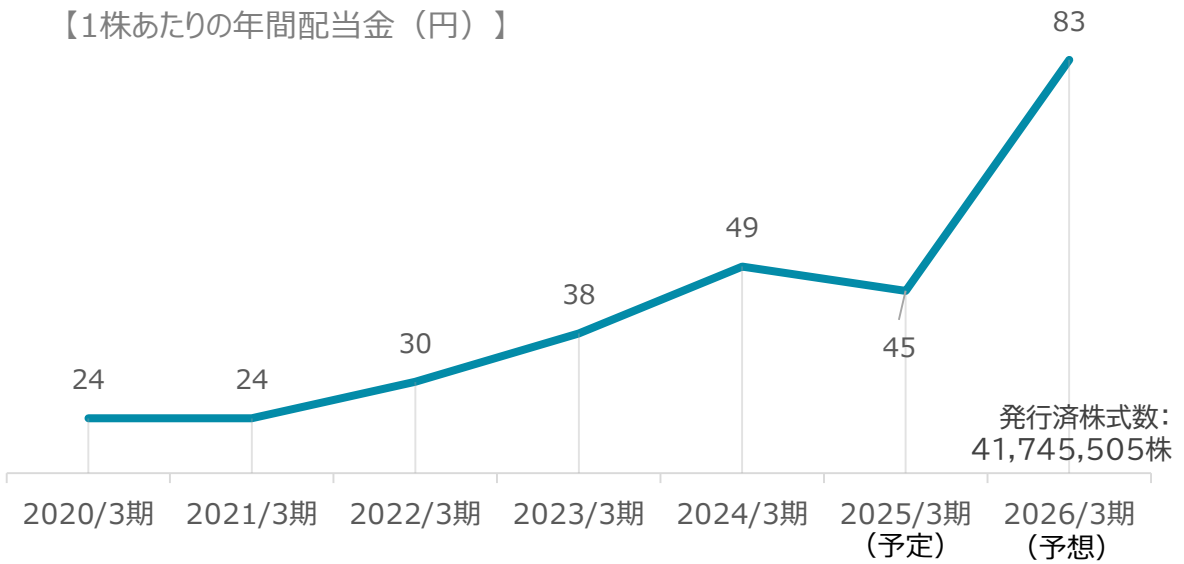
✓ 今中期経営計画期間（2026年３月期～2028年３月期）においては、

- 期間中の**DOEを7.0～7.5%**と設定
- 一株あたり年間配当金額は、2026年3月期を下限として累進的な増配を行う

■ 自己株式の取得について、今中期経営計画期間に**30～35億円**規模を実施

配当（円）	中間	期末	年間
2024年３月期	22	27	49
2025年３月期	22	23※	45※
2026年３月期（予想）	41	42	83

※2025年3月期期末配当及び年間配当は、第79期定時株主総会（6月２５日開催）で正式に決定する予定です。



＜参考情報＞損益計算書の概要

- 経常利益：為替差益21百万円が発生 (前年同期比 _－718百万円)。持分法による投資利益は936百万円 (同 ＋167百万円)
- 純利益：政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の増加 (同 ＋501百万円)。事業資産の評価損を計上（同 −300百万円）

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比		
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）	構成比率変化（pts）
売上高	**53,425**	**—**	**54,411**	**—**	**+986**	**+1.8**	**—**
売上原価	28,950	54.2	29,091	53.5	+140	+0.5	-0.7
売上総利益	24,475	45.8	25,320	46.5	+845	+3.5	+0.7
販売管理費	18,299	34.3	19,417	35.7	+1,118	+6.1	+1.4
営業利益	**6,176**	**11.6**	**5,903**	**10.8**	**-273**	**-4.4**	**-0.7**
営業外収益	1,924	3.6	1,419	2.6	-505	-26.3	-1.0
営業外費用	114	0.2	182	0.3	+67	+59.1	+0.1
経常利益	**7,986**	**14.9**	**7,139**	**13.1**	**-847**	**-10.6**	**-1.8**
特別利益	24	0.0	536	1.0	+511	—	+0.9
特別損失	23	0.0	404	0.7	+380	—	+0.7
税金等調整前純利益	7,987	15.0	7,271	13.4	-716	-9.0	-1.6
法人税等	2,052	3.8	1,904	3.5	-147	-7.2	-0.3
非支配株主帰属純利益	1,003	1.9	1,089	2.0	+85	+8.6	+0.1
親会社株主帰属純利益	**4,931**	**9.2**	**4,276**	**7.9**	**-654**	**-13.3**	**-1.4**

＜参考情報＞業積推移

【累計】単位：百万円			2025年3月期			
			1Q	1～2Q	1～3Q	1～4Q
売上高			12,484	27,060	39,988	54,411
前年同期比			+2.5%	+4.5%	+2.6%	+1.8%
エアエナジー	**圧縮機**		6,834	15,077	22,809	30,787
		前年同期比	+1.0%	+4.3%	+2.0%	+2.0%
	真空機器		748	1,509	2,171	2,822
		前年同期比	+0.5%	+4.4%	-2.0%	-5.4%
	売上高		7,583	16,586	24,981	33,609
	前年同期比		+1.0%	+4.3%	+1.7%	+1.3%
コーティング	**塗装機器**		4,348	9,172	13,242	17,943
		前年同期比	+8.2%	+10.7%	+8.7%	+6.6%
	塗装設備		524	1,245	1,686	2,736
		前年同期比	-14.7%	-24.4%	-21.0%	-17.1%
	売上高		4,872	10,417	14,928	20,679
	前年同期比		+5.2%	+4.9%	+4.3%	+2.7%
その他	**売上高**		27	55	79	123
	前年同期比		-10.9%	-8.6%	-4.2%	+10.2%
営業利益			1,017	2,962	4,633	5,903
前年同期比			-19.9%	+3.3%	+3.1%	-4.4%
エアエナジー	**営業利益**		565	1,492	2,518	3,388
	前年同期比		-6.7%	+9.2%	+0.8%	+2.8%
コーティング	**営業利益**		438	1,446	2,118	2,608
	前年同期比		-31.8%	-1.1%	+8.7%	-7.5%
その他	**営業利益**		13	23	-4	-94
	前年同期比		-34.5%	-35.5%	-109.5%	-253.1%

【3か月ごと】単位：百万円			2025年3月期			
			1Q	1～2Q	1～3Q	1～4Q
売上高			12,484	14,575	12,928	14,423
前年同期比			+2.5%	+6.2%	-1.1%	-0.2%
エアエナジー	**圧縮機**		6,834	8,242	7,732	7,977
		前年同期比	+1.0%	+7.1%	-2.1%	+1.8%
	真空機器		748	760	661	651
		前年同期比	+0.5%	+8.6%	-14.1%	-15.2%
	売上高		7,583	9,003	8,394	8,628
	前年同期比		+1.0%	+7.2%	-3.1%	+0.3%
コーティング	**塗装機器**		4,348	4,824	4,069	4,701
		前年同期比	+8.2%	+13.1%	+4.4%	+1.0%
	塗装設備		524	720	440	1,049
		前年同期比	-14.7%	-30.2%	-9.5%	-10.0%
	売上高		4,872	5,545	4,510	5,750
	前年同期比		+5.2%	+4.7%	+2.8%	-1.2%
その他	**売上高**		27	27	23	43
	前年同期比		-10.9%	-6.1%	+8.0%	+51.4%
営業利益			1,017	1,944	1,671	1,270
前年同期比			-19.9%	+21.8%	+2.6%	-24.5%
エアエナジー	**営業利益**		565	926	1,026	870
	前年同期比		-6.7%	+21.8%	-9.2%	+9.0%
コーティング	**営業利益**		438	1,007	672	489
	前年同期比		-31.8%	+22.9%	+38.2%	-43.6%
その他	**営業利益**		13	9	-27	-89
	前年同期比		-34.5%	-36.7%	-351.0%	-714.7%

当社の起源と現在の事業概要

塗装用スプレーガンとその動力となるコンプレッサの製造を出発点に、製品の多様化、用途の開拓を行いながら事業を拡大し続けております

1926年創業
(旧社名：岩田製作所)

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

圧縮空気で
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの動力として
圧縮機として製造開始

**製品の差別化を
可能にしたコンセプト**

- 環境対応
- 塗面作成の提案力

- オイルフリー化
- 省エネ性

**製品の多様化
用途の開拓**

塗装ロボット

エアーブラシ

オイルフリー
スクロール型
真空ポンプ

オイルフリー
スクロール型
圧縮機

コーティング事業

塗装機器

- ✓ 塗料等の液体を霧状にする工具、または液体を搬送する機械
- ✓ スプレーガン、塗料供給ポンプなどの機器単体

塗装設備

- ✓ 塗装の前後工程を一連の流れとした設備
- ✓ 塗装機器と塗装ロボット、換気や乾燥装置等を組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機

- ✓ 空気を主とした気体を圧縮する機械
- ✓ 空気圧縮機、N2ガス発生装置、タンクなどの補器類

真空機器

- ✓ 気体を吸引・減圧し、真空状態をつくる機械
- ✓ 真空ポンプ、バルブなどの補器類

将来見通しに関する記述、およびその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではございません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社
経営企画部　IR広報グループ
TEL　：　045-591-9344
E-mail　：　ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL　：　https://www.anestiwata-corp.com/jp